



本製品は可動部を有する電気製品です。間違った接続・作業を行うと大きな事故、障害の原因となります。この取扱説明書をよく読み、十分に理解された上で作業してください。

- 1.警告に従う
作業時、および使用時に問題が生じないよう、記載されている警告内容をよくお読みください。
- 2.製品の清掃について
本製品を定期的に清掃することを推奨いたします。清掃される場合、すべてのケーブル接続を外したあとで、水を湿らせた柔らかい布で拭いてください。また、可燃性のスプレークリーナーを本体に直接吹きかけないでください。
- 3.水・湿気について
コントローラーは浴室、脱衣所、台所のシンク周り等、水がかかりやすい場所および湿度が高い場所には設置しないでください。
- 4.設置
本製品は、アンテナを水平方向で回転させることのみ対応しています。マストが斜めになる設置や、アンテナを垂直方向に回転させる設置には対応しておりませんのでご注意ください。
- 5.冷却
コントローラーに設けているスリット・穴は冷却用のものです。穴をふさいで使用したり、湿気が悪い場所(クーア収納、ラック等)に置いて使用すると、コントローラーが過熱して事故・故障の可能性ががあります。
- 6.電源コード
コンセントに電源コードのプラグを脱着する場合、根元の太い部分をつまんで抜き差ししてください。ケーブル部分をつかんでコンセントから抜くと、断線が生じ、火災・火花事故の原因となります。また、電源ケーブルを踏んだり、重量物を載せないでください。
- 7.アンテナについて
落雷時の回り込みによる機器の多重損傷を防ぐため、アンテナはコントローラーとアンテナ側で別系統とされることを推奨いたします。
- 8.電源プラグについて
本製品の電源プラグは**逆磁性有リタイプ**で片側の平刃が幅広くなっており、コンセントやケーブルタップ等の形状によっては、反対向きでは取り付けられない、またはどちらの向きでも全く取り付けられないことがあります。以下の説明に対応する**リケット**が対応しておりますのでご注意ください。



リケット差し込み幅が、右側より左側が大きいもの(左側が幅9mm、右側が幅7mm)を取り付けられない場合、左図と同じ市販製品(ケーブルタップ、アダプター等)をご使用ください。

【製品仕様】

- 種別：アンテナローター ● 使用電源：AC100～120V / (50/60Hz共用)
- 消費電力 約80W ● 回転力：定格100kg・cm ● 制動力：定格200kg・cm
- 耐垂直荷重：定格50kg [設置方向] ● 対応アンテナ受風面積：最大0.1m²(マストの受風面積を含む)
- 取付マスト径範囲：アンテナマスト側 φ32～φ45mm、支持マスト側最大 φ25～φ50mm
- 耐風速：最大30m/s ● 360°回転時間：約70～80分 ● 本体質量：約2.2kg
- 電源ケーブル長：約1.6m ● コントローラー質量：約1.7kg
- コントローラー筐体寸法：約 W180×D150×H50 [mm]
- 使用ケーブル：20AWG(0.5mm²) 3芯ケーブル (別売 ※市販品を使用)

弊社アンテナ製品群で、CRT-7を使用したアンテナ設置に向かないもの

- ・CWAシリーズ ・H-422 ・H-722
 - ・CA-52HB4 ・CHA-250BXII
 - ・CHA-7000W ・CHA-7350H ・CHA-2100
 - ・CHA-2700 ・CHA-2800 ・GP-9 等
- 他社製アンテナを含め、概ね全長が3mを超える、または受風面積が0.1m²を超えるアンテナは設置に向きません。どうしても設置せざるを得ない場合は、パランスに注意し、設置高を控えめにしてください。

GPアンテナ系は水平面無指向性のため、CRT-7が必須ありませんが、指向性アンテナと一緒に設置する可能性があるために記載しております。

2012年11月現在

△ 使用上の注意

- 周囲に巻き込むような障害物(植木等を含む)がないところで使用ください。
- 雷発生時にアンテナや同軸ケーブルに触れると、直接雷や誘導雷で感電する可能性があります。被害を最小限にするため、コントローラー・無線機保護のため、雷が近づいてきた場合には配線絡を外されることを推奨いたします。
- 指定電源以外で使用しないで下さい。予期せぬ事故や故障の可能性があります。
- マスト軸を斜めや水平にした状態で使用しないでください。予期せぬ事故や故障の可能性があります。
- ご自身での改造や修理は行わないで下さい。予期せぬ事故の可能性ががあります。

FAQ.こんな場合は？

- 移動運用QVツリー使用可能ですか？
A. 申し訳ございませんが、対応する電源がAC(交流)100～120Vとなっております。QVツリーから電源をとることができますので了承ください。
- 回転しない
A. 配線が間違っていますか？
コントローラー側・ローター側両方で同じ番号の端子に同じ色のケーブルを接続してください。
- 屋外設置について
A. 内部に通常想定される雨水が浸入しても問題ない構造ですが、下側から雨水が想定される環境および強風環境下での使用はできませんのでご了承ください。
- 長期に渡って動かさなかった場合
A. 内部のモーターが固着し動かなくなる可能性がありますので、定期的に動作確認を行うってください。

【点検とお手入れ・メンテナンス】

- ☆異常と思われる現象が発生したとき、直ちに使用を中止して下さい。
- ☆修理等に行きましても、購入された販売店または弊社サービス担当までご相談下さい。
- ☆定期的に、ねじ部の緩みおよび設置状況をご点検いただきますようお願いいたします。
- ・重量が品質管理において生産しておりますが、万一の不具合等があります。ご購入いただいた販売店にご相談下さい。
- 品質向上のため、予告なく仕様および外觀を変更することがありますのでご了承ください。

COMET株式会社

〒336-0026 埼玉県さいたま市南区辻4-18-2
TEL：048-839-3131(代) / FAX：048-839-3136
URL：http://www.comet-ant.co.jp/

MODEL **CRT-7** 小型アンテナローター

COMET ANTENNA

取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

安全にお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しい使用方法でご使用下さい。この取扱説明書は必要なときにご覧いただけるよう、大切に保管して下さい。

★組み立ての前に、本ページ下のパーツリスト通りに部品がそろっているかを確認下さい。

【製品の特長】

- 小型でシンプルな形状ながら、強力な回転トルクを持っていきます。
- コントローラーと本体のモーターを同期させ、高精度に位置を制御できるアンテナローターです。
- 八木田アンテナ、対数周期アンテナ等指向性アンテナの向きが360°(水平方向)自由に変えられます。
- 指定の位置まで来ると自動で停止する、オートストップ機構付きのコントローラー付属です。

別塗 市販の3芯ケーブルが必要 です

- ◆ 本製品を使用するには、別塗市販の3芯ケーブル(20AWG10.5mm² 外径約7mm)を購入する必要があります。長さは設置場所に合わせ、若干余裕を持たせた長さとしてください。(最長40mまでとしてください。)

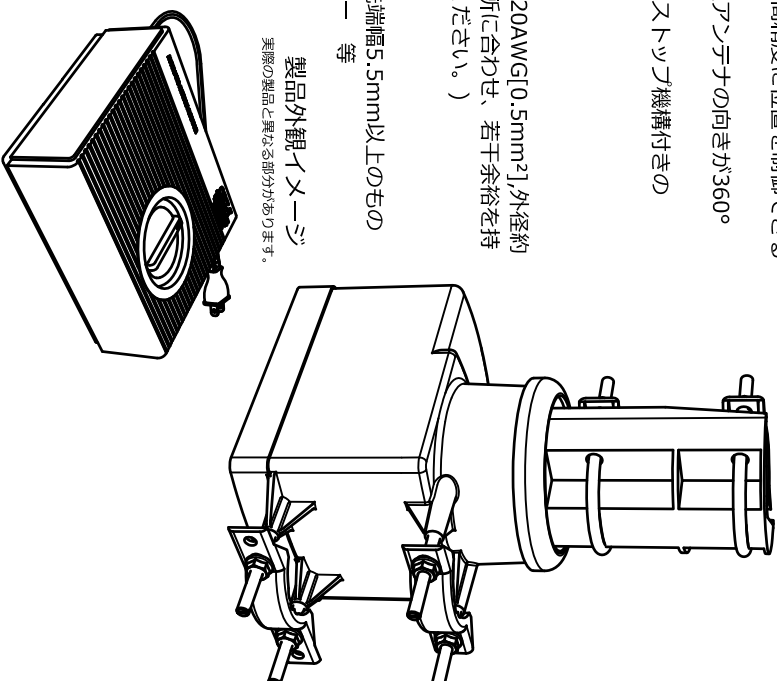
本製品の組み立てに必要な工具

- ◆ ブラスタライバ No.2 ◆ マイナスドライバ 先端幅5.5mm以上のもの
- ◆ 7/16" スパイク ◆ コイヤー・スリッパ ◆ カッター 等

CRT-7 パーツリスト

部品名	数量
1 本体部(ドライユニット)	1
2 コントローラー	1
3 クラック金具 A	3
4 クラック金具 B (穴が2つ多い)	1
5 長ねじ	4
6 U字ボルト	2
7 六角ナット(鎖付き座金一体式)	8
8 六角ナット	4
9 矢印シール (Ch表示)	1シート

製品外觀イメージ
実際の製品と異なる部分があります。



△ 警告
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

△ 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

△ 警告

- ① 電波防護指針に従って安全な場所にアンテナを設置して下さい。
- ② アンテナ設置工事は悪天候の場合危険ですので、無理せず良い日を選び事故のない様に工事を行ってください。
- ③ 雷発生時のアンテナ工事は危険です。工事を中止して下さい。
- ④ 電波を送信中にアンテナやケーブル等に触れないで下さい。やけどする場合があります。
- ⑤ 電線、電線架線のそば、電話線の近くや照明灯の近くには設置しないで下さい。アンテナが倒れた時に大事故になります。
- ⑥ 安定した場所にアンテナを設置して下さい。足場が不安定な状態での工事は、事故やケガの原因になります。
- ⑦ アンテナ工事中に高所から工具類、ネジ類等を落下させないよう注意して下さい。事故やケガの原因になります。
- ⑧ 設置した同軸ケーブルはしっかりと固定して下さい。強風等であおられると、事故やケガの原因になります。

【製品使用までの概略手順】

1. 取り付け金具類の仮取り付け
2. 本体にコンローラー接続ケーブルを取り付け
3. ストへの取り付け、本締め固定
4. アンテナの取り付け、本締め固定
5. アンテナ同軸ケーブルの取り付け、および無線機の接続確認
6. アンテナSWRおよびCRT-7の動作確認
7. 運用開始

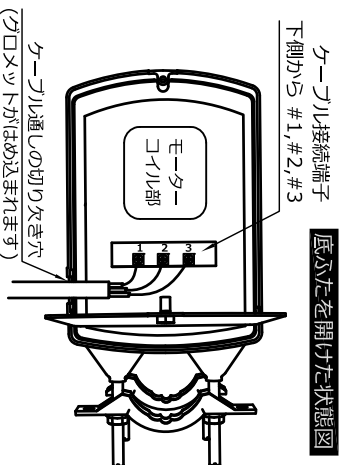
※ 設置環境により、設置手順が前後して問題ありません。

取付方法

1. ドライユニットの設置

- ◆ 右図を参考に、ドライユニットの下側側面にあるねじ穴4カ所に長ねじをスチラストパイプで締め付けて固定し、緩み止め用に外歯がついていない六角ナットを奥まで締め付けます。その後、クランプ金具(下側は1個だけ穴が多い金具があるので、それを使用してください)の長穴をねじに通し、外歯付きの六角ナットで仮固定します。
- ◆ 支持スチパイプを取り付け(本体に先端飛び出し防止のストッパがあり)、歯付きの六角ナットを締め付けます。必ず上下とも固定してください。
- ◆ ナットを締めすぎると本体および金具が変形し、かえって締め付け力が低下する原因となりますので注意してください。
- ◆ アンテナスト側も図を参考に、しっかりと締め付けて固定してください。
- ◆ ナットの脱着には、7/16インチのヌチカが必要です。

警告 設置作業は電源が接続されていない状態で行い、また電源(3芯)ケーブルと同軸ケーブルはスチパイプと干渉しないようにしてください。



ケーブル接続端子
下側から #1, #2, #3

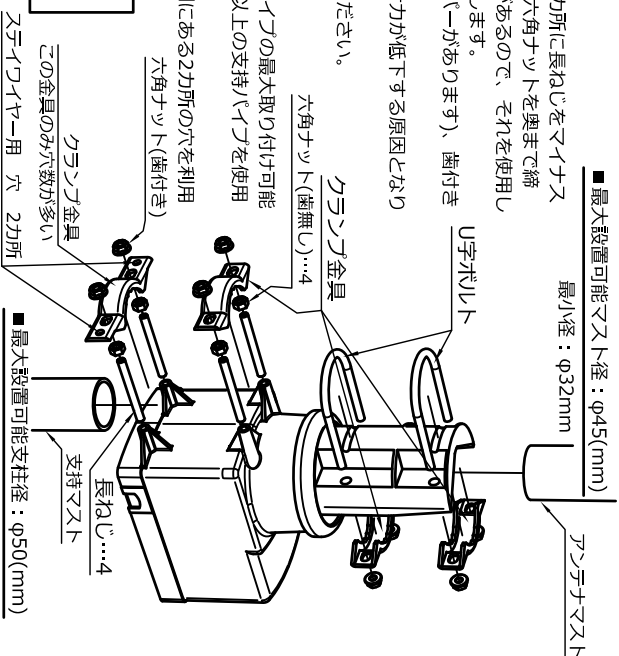
ケーブル通しの切り欠き穴
(クロメツトがはめ込まれます)

- ◆ 端子にケーブルがきちんと取り付けられているか軽くケーブルを引っ張って確認し、また端子間でショートしていないことを確認してください。
- ◆ オロメツトをケーブルにはめ込み、切り欠き穴に取り付けた後、ふたを固定用ねじを締め付けてください。
- ◆ 湿気の侵入を防ぐため、切り欠き穴部にあるクロメツトがケーブルにしっかりと挿入されていることを確認してください。ケーブル径が太過ぎる場合、クロメツトが挿入できない場合がありますので、そのケーブルはご使用にならないでください。

※20AWG[0.5mm²] (最長40m)の3芯ケーブルを推奨いたします。

取付・設置上の注意点

- 屋根の上など高所での作業時には、落下事故やけが防止のため、安全帽と安全带を必ずご使用下さい。
- 接続ケーブルのコネクターがアンテナのコネクターと同じ種類であることを確認してから接続して下さい。違う種類ですと、コネクターを破損する可能性がありますので注意して下さい。
- ねじ、金具類はしっかりと締め付けて固定して下さい。固定が不安定な場合、地震・車面の通過振動等で揺み、落下事故や電気特性不良の原因となります。
- 他のアンテナ・高圧電線・鉄塔・高層建築物に注意して設置して下さい。近接物があると、アンテナの性能が十分に発揮できない可能性があります。



2. ドライユニットの接続

- ◆ ドライユニット底面のふたにあるねじ1カ所をプラスドライバーで緩め、ふたを開けます。※ねじは緩めでも脱落しないようになっています。
- ◆ 内部に3カ所端子があり、図に示すようにケーブルの芯線3本を取り付けます。ケーブルの先端は4cmほどの長さで分割し、ワイヤーストリップで10~15mm程度芯線を露出させます。
- ◆ 幅広(もしくはメイン)線を#1端子に接続します。#2と#3端子には任意のケーブルを接続します。しっかりと取り付けたい場合は、コネクタ端子のご使用もご検討ください。
- ◆ コントローラー側の接続も同じ接続になりますので、端子毎にどのケーブルを接続したのかをメモしておいてください。
- ◆ 4芯ケーブルを使用されている場合、2本のケーブルを一緒に端子3へ接続してください。

3. アンテナスト

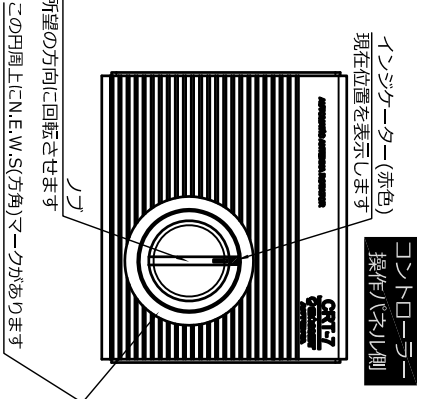
設置するアンテナサイエに合わせ、下の説明通りに支持スチパイプの長さをカットしてご使用ください。(設置可能なアンテナは、受風面積が0.1m²以下のものに限りです。)

- アンテナサイエ

長さ1.5mまで	最大スト長 1.5m
長さ2.4mまで	最大スト長 0.9m
長さ2.4mを超えるもの	最大スト長 0.6m
- ◆ 補強金具付きアンテナの場合、スト固定点が下から30cmとなる長さ(左図参照)
- 2つアンテナを設置する場合、最大スト長 1.2m(上側に小さくアンテナを設置し、下側のアンテナはスト下面から0.5mの位置に設置してください。)

4. 位置決め

付属の矢印シールドは、位置決めの目安用ですので自由にお使いください。
スト回転台の底面に当たるようにアンテナストを立て、アンテナの向きが規定しやすい位置にストパイプを回転させ、(コントローラー側に東西南北を表すN.E.W.S)マークがあるので、最初にはまたは南方向に合わせることを推奨します。(添付のU字ボルト・クランプ金具(2セット)を前ページの図を参考に取り付け、しっかりとナットを締め固定して下さい。)

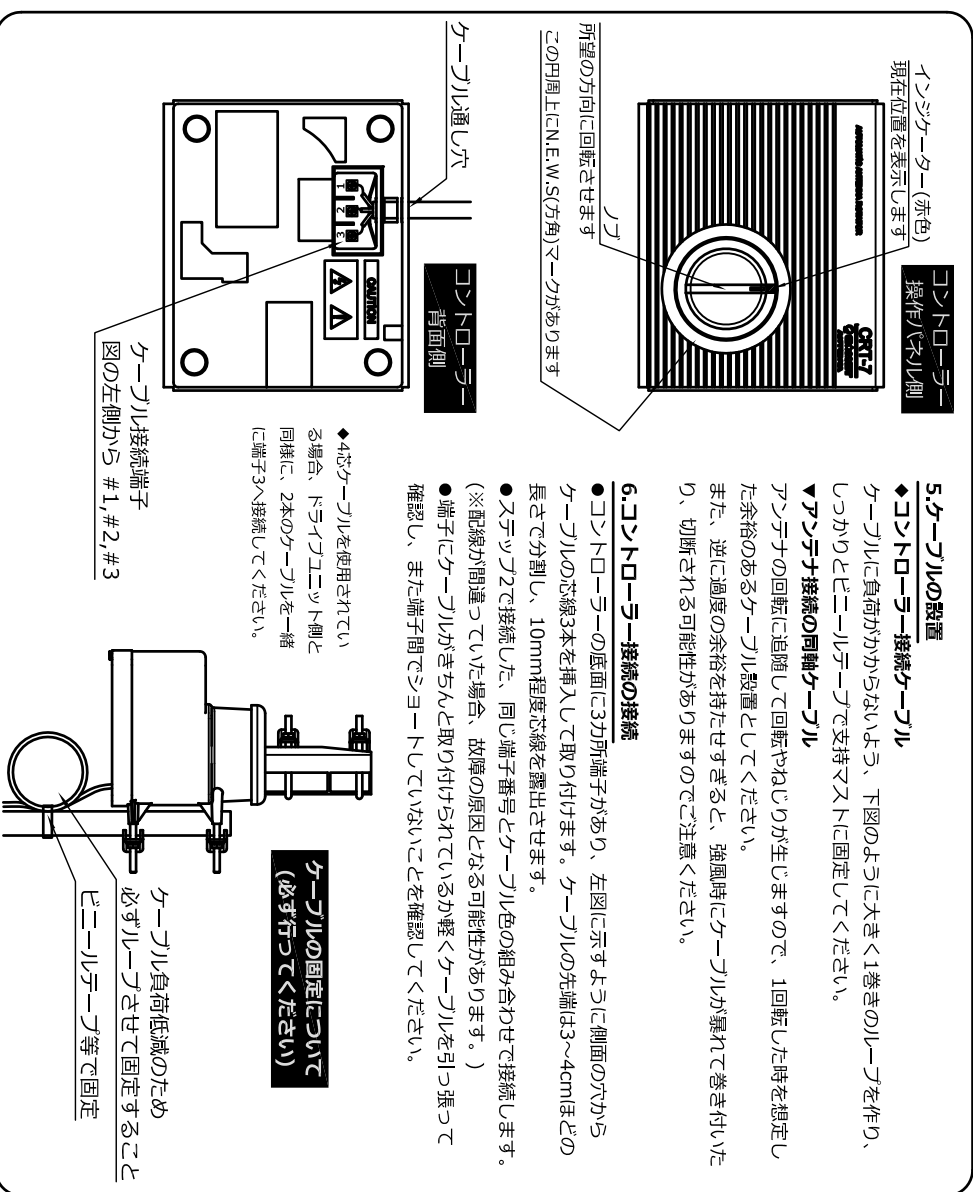


5. ケーブルの設置

- ◆ **コントローラー接続ケーブル**
ケーブルに負荷がかからないよう、下図のように大きく1巻きのループを作り、しっかりとビニールテープで支持スチに固定してください。
- ◆ **アンテナ接続の同軸ケーブル**
アンテナの回転に追従して回転やねじりが生じますので、1回転した時を想定した余裕のあるケーブル設置とさせていただきます。
また、逆に過度の余裕を持たせすぎると、強風時にケーブルが暴れて巻き付いたり、切断される可能性がありますのでご注意ください。

6. コントローラー接続の接続

- コントローラーの底面に3カ所端子があり、左図に示すように側面の穴からケーブルの芯線3本を挿入して取り付けます。ケーブルの先端は3~4cmほどの長さで分割し、10mm程度芯線を露出させます。
- スチパイプで接続した、同じ端子番号とケーブル色の組み合わせで接続します。(※配線が間違っていた場合、故障の原因となる可能性があります。)
- 端子にケーブルがきちんと取り付けられているか軽くケーブルを引っ張って確認し、また端子間でショートしていないことを確認してください。



7. 動作確認

- コントローラーの電源ケーブルプラグ(AC100~120V)を電源コンセントに接続します。(DC電源は使用しないでください。)
- コントローラーのノブを時計回りいっぱい回し、ノブ周囲のインジケーター(赤色)が回転していることを確認してください。回転が終わりに近づくと、自動的に停止して電源が切れます。今度は逆回転(反時計回り)に回し、ノブを最初の位置にします。
- ノブは上側Nマークを基準に左右360°回転します。ストッパがありますので、同じ方向に360°以上の回転はできません。
- 回転が停止したとき、アンテナが元の方向に戻っていないか確認終了です。

8. 修正

- インジケーターとアンテナの向きが同期しなくなった場合、一度ノブを時計回りいっぱい回し、回転が止まった後に逆回転いっぱいノブを回します。これでインジケーターとアンテナの向きが同期します。

9. 使用開始およびメンテナンス

- アンテナを回転させてみましょう。使用される周波数帯で受信、または送信感度が一番高い向きが見つかった場合、コントローラーにマーカーまたは方向のメモをされることをおすすめします。
- ◆ **注意点** 回転中に逆向きにノブを回すとモーターおよびギアに大きな負担がかかり、故障の原因となる可能性があります。向きを変える場合は、回転が停止した後に行ってください。

10. その他

- 強風の後など、わずかに位置ずれが起こる可能性がありますので、その場合は位置の確認・修正をお願いします。